



Session Manager の設定

この章は、次の項で構成されています。

- セッションマネージャについて, [on page 1](#)
- Session Manager の注意事項および制約事項, [on page 1](#)
- Session Manager の設定 (2 ページ)
- Session Manager 設定の確認, [on page 4](#)

セッションマネージャについて

Session Manager を使用すると、設定変更をバッチ モードで実行できます。Session Manager は次のフェーズで機能します。

- コンフィギュレーション セッション : Session Manager モードで実行するコマンドのリストを作成します。
- 検証 : 設定の基本的なセマンティック チェックを行います。Cisco NX-OS は、構成の一部でセマンティクス 検査が失敗した場合にエラーを返します。
- 検証 : 既存のハードウェア設定、ソフトウェア設定、およびリソースに基づいて、設定全体を確認します。Cisco NX-OS は、構成がこの確認フェーズで合格しなかった場合にエラーを返します。
- コミット : Cisco NX-OS は構成全体を確認して、デバイスに対する変更をアトミックに実行します。エラーが発生すると、Cisco NX-OS は元の設定に戻ります。
- 打ち切り : 設定変更を実行しないで廃棄します。

任意で、変更をコミットしないでコンフィギュレーション セッションを終了できます。また、コンフィギュレーション セッションを保存することもできます。

Session Manager の注意事項および制約事項

Session Manager には、次の注意事項および制限事項があります。

Session Manager の設定

- Session Manager は、アクセス コントロール リスト (ACL) 機能のみサポートします。
- 作成できるコンフィギュレーション セッションの最大数は 32 です。
- すべてのセッションで設定できるコマンドの最大数は 20,000 です。

Session Manager の設定

セッションの作成

作成できる構成セッションの最大数は 32 です。

SUMMARY STEPS

1. switch# **configure session name**
2. (Optional) switch(config-s)# **show configuration session [name]**
3. (Optional) switch(config-s)# **save location**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	switch# configure session name	構成セッションを作成し、セッション構成モードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。セッションの内容を表示します。
ステップ 2	(Optional) switch(config-s)# show configuration session [name]	セッションの内容を表示します。
ステップ 3	(Optional) switch(config-s)# save location	セッションをファイルに保存します。保存場所には、bootflash または volatile を指定できます。

セッションでの ACL の設定

コンフィギュレーション セッションで ACL を設定できます。

SUMMARY STEPS

1. switch# **configure session name**
2. switch(config-s)# **ip access-list name**
3. (Optional) switch(config-s-acl)# **permit protocol source destination**
4. switch(config-s-acl)# **interface interface-type number**
5. switch(config-s-if)# **ip port access-group name in**

6. (Optional) switch# **show configuration session [name]**

DETAILED STEPS

Procedure

	Command or Action	Purpose
ステップ 1	switch# configure session name	コンフィギュレーションセッションを作成し、セッションコンフィギュレーションモードを開始します。名前は任意の英数字ストリングです。
ステップ 2	switch(config-s)# ip access-list name	ACLを作成します。
ステップ 3	(Optional) switch(config-s-acl)# permit protocol source destination	ACLに許可文を追加します。
ステップ 4	switch(config-s-acl)# interface interface-type number	インターフェイスコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 5	switch(config-s-if)# ip port access-group name in	インターフェイスにポートアクセスグループを追加します。
ステップ 6	(Optional) switch# show configuration session [name]	セッションの内容を表示します。

セッションの確認

セッションを確認するには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# verify [verbose]	コンフィギュレーションセッションのコマンドを確認します。

セッションのコミット

セッションをコミットするには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# commit [verbose]	コンフィギュレーションセッションのコマンドをコミットします。

セッションの保存

セッションを保存するには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

セッションの廃棄

コマンド	目的
switch(config-s)# save location	(任意) セッションをファイルに保存します。保存場所には、bootflash または volatile を指定できます。

セッションの廃棄

セッションを廃棄するには、セッションモードで次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
switch(config-s)# abort	コマンドを適用しないで、コンフィギュレーションセッションを廃棄します。

Session Manager のコンフィギュレーション例

次に、ACL 用のコンフィギュレーションセッションを作成する例を示します。

```
switch# configure session name test2
switch(config-s)# ip access-list acl2
switch(config-s-acl)# permit tcp any any
switch(config-s-acl)# exit
switch(config-s)# interface Ethernet 1/4
switch(config-s-ip)# ip port access-group acl2 in
switch(config-s-ip)# exit
switch(config-s)# verify
switch(config-s)# exit
switch# show configuration session test2
```

Session Manager 設定の確認

Session Manager の設定情報を確認するには、次の作業のいずれかを行います。

コマンド	目的
show configuration session [name]	構成ファイルの内容を表示します。
show configuration session status [name]	構成セッションのステータスを表示します。
show configuration session summary	すべての構成セッションのサマリーを表示します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。